

東京慈恵会医科大学西部医療センター ホットライン専用電話番号 070- [REDACTED]

取 扱 注 意
関係施設の職員のみが取り扱うこと

あわてず、ゆっくり、正確に情報を伝えること

- 1 施設名・連絡者名を伝える。(例：調布市立調布小学校 養護教諭の石原です)
『(施設名) _____ (職) _____ の (氏名) _____ です』
- 2 氏名・学年(年齢)・食物アレルギーの情報を伝える。
『児童(生徒)は小学(中学) _____ 年生 (男子・女子) の _____ さんです。』
『食物アレルギーの管理指導表の提出があり、原因は _____ です。』
『アナフィラキシーの既往は (ありません・あります。原因は _____) です。』
- 3 いつ・どうして・どういう状況か伝える。
(例：13時30分 5時間目体育の授業中に、息が苦しいと言い、その後1回嘔吐しました。給食は12時50分から13時10分に食べています。除去しているえびを食べたかもしれません。現在、保健室のベッドで寝ています)
- 4 エピペン・内服薬の有無、使用状況等を伝える。
『エピペンは (ありません・あります)。
今回は (使っていません・ _____ 時 _____ 分に使いました)』
『内服薬は (ありません・ _____ を持っています)。
今回は (使っていません・ _____ 時 _____ 分に使いました)』

※緊急時にあわてないように下線部はあらかじめ記入しておくこと

専用電話使用可能時間等：平日及び土曜日 8時半から 17時まで
※使用できない日：日曜・祝日・大学記念日 (5/1・10月第二土曜日)
年末年始 (12/29～1/3)

こんな時に連絡してください

- 《緊急時個別対応カード》に搬送先希望病院として「東京慈恵会」の明記がある場合

留意事項

- 救急隊に搬送先の申し入れをしますが、搬送先の決定は救急隊の判断となります。

こんな時に連絡してください

- アレルギー症状と同様の症状がでて、対応判断ができない場合

留意事項

- 専用電話への連絡の前に、症状の確認までをしておくとともに、持っていればエピペンの準備もしておくこと